

「働き方改革が生産性をあげ 地域に雇用を生みだす！」

中小企業こそ働き方改革で差別化する

株式会社エムワン
人事部 柴田佐織

会社概要

株式会社エムワン

本社：三重県松阪市

店舗数：三重県 6店舗 大阪府 3店舗 北海道 デイサービス

従業員数：67名（男性8名 女性59名 内社員 43名）

平均年齢：35歳

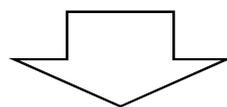
女性管理職：3名

◆エムワン（調剤薬局）を取り巻く環境◆

- ・薬剤師不足のため、薬学生は売り手市場（就職率100%）
- ・診療報酬改定で利益が減っているところも多い
- ・地方のオーナー企業ではM & Aが増加
- ・三重県は大学・短大が少ない
- ・非正規が多い。結婚・出産でパートに雇用形態変更が多い。

地方の中小企業は慢性的な人手不足！

- ◆2014年 採用活動1年目（エムワン入社2013年9月）
まったく**学生が来ない**！母集団が集まらない！
中途社員をハローワークで募集しても**誰も来ない**！
- ◆2015年 採用活動2年目
そんな矢先… **2名が同時妊娠**！2名とも育児休業取得。
現場はイライラ、休みが取れない、仕事が回らない…。



**三重県の「ワークライフバランス推進サポート事業」に応募
2015年 働き方改革開始！**

取組店舗紹介

はあと薬局鎌田店

- 管理薬剤師（32歳）
- 4月入社の新卒薬剤師（26歳）
- 受付事務（26歳）
- パート受付事務（26歳）
- 受付事務⇒育児休業取得（30歳）

全員女性！！

育児休業取得社員が出たことで
1名減少となった状態で開始！



取り組み前 (before)

ワークライフバランス?
カエル会議って何??

今より忙しくならない?

それよりも人を増やして
ほしい



カエル会議の内容（週1回実施）

- ・ 属人化している業務内容を洗い出し、スキルマップの作成
- ・ 有給消化シートを作成し、有給も見える化
- ・ 休みにやりたいことリストを共有（相手を知る）
- ・ ライフロールで5年後、10年後を創造するワーク

目標は1名減でも
有給消化100%



スキルアップで売上・生産性もUP！

自発的に動ける社員に

仕事に自信
がついた

PCスキル
アップ

時間に余裕
ができた

資格取得
出来た

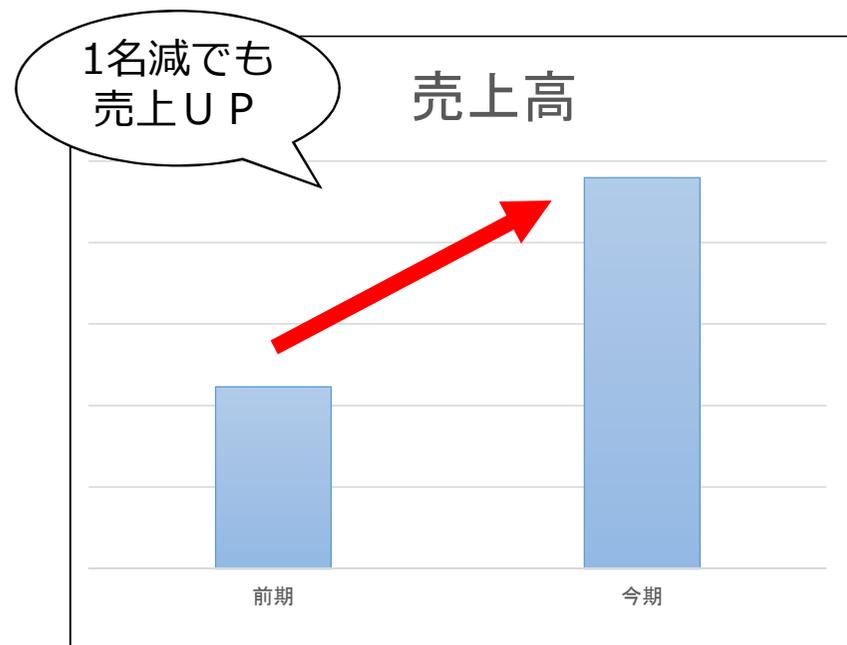
売場づくり

試飲会の実施

イベント実施

ニーズの把握

調剤売上高 **102%**
患者数 **143**人増加



採用活動に活かす

2年目

- ①エントリー者にWLBの取組をメール
- ②会社説明会でも取組内容を紹介
- ③店舗見学会へ誘導

	16卒	17卒	昨年比
エントリー数	33	168	5倍
アクセス数	2,726	7,775	2.8倍
説明会参加数	9	76	8倍
内定者数	4	11	2.75倍

3年目

- ①大学のキャリアセンターや学内説明会で「働きやすい環境」をアピール
- ②自社ホームページPV数大幅**UP↑800PV**

今期

- ①大阪や愛知の学生も獲得！
- ②採用活動の短期化
- ③質の良い学生の獲得

今まで取り組めなかった
新しいビジネスが始まった！

社員構成比の変化

	2014年	2017年	対比
正社員数	23名	43名	1.8倍
パート数	23名	24名	変わらず

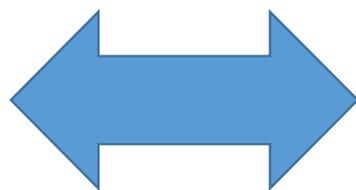
2014年から2017年までに新入社員は18名増加！
2018年度は4名内定済み！（薬剤師2名、管理栄養士2名）

働き方改革で社員は成長する

トップ自ら
率先垂範

仕事を任せる

賞与を約束



対話

自分の中の変化

承認欲求が満たされる

自発的に動く

欲しいものが
手に入った（満足感）

社員自ら企画・運営したイベント

アピタで「健康イベント」
来場者なんと**約200名**！



今年は新卒が
やりました！

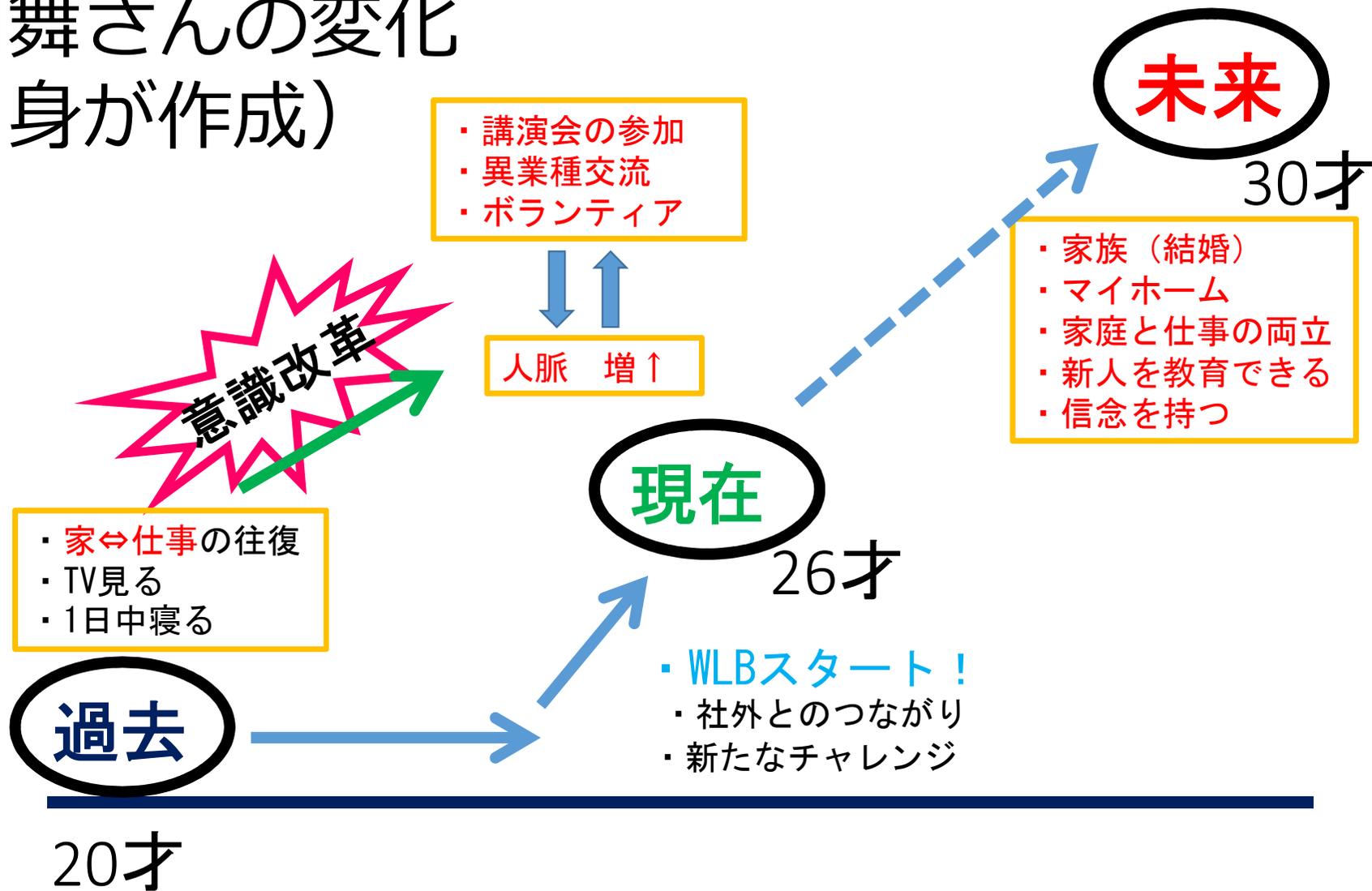
陳列コンクールに
応募し**準グランプリ**☆



こどもの城で
「薬剤師体験」イベント



出口舞さんの変化 (自身が作成)



ライフの充実が人生を変える



タイへボランティアに。
一つのきっかけが海外
ボランティアに出かける
までに！
念願の彼氏もできた！



10月に結
婚決まり
ました！



出口舞さんの例



登録販売者資格を
取得し給与UP!

自分たちで
イベント企画し
患者数増加!



働き方改革で重要なこと

肝は、社長の意識改革と、社員の自主性の回復

- 実は、優秀な社長ほど、社員の自主性の芽を摘んでいる。

そのためには、

属人化した業務の「見える化」が必要

- 作業指示ではなく、ミッションごとに業務を社員に任せる

具体的には、

有給休暇取得というプロセスを通じて、
モチベーションと、自分の業務ミッションを再発見